

《キーワード》十勝産、食物繊維、用途開発

1.

1. 十勝産チコリのイヌリンを素材とした商品開発の現状

【発表者】

葛西大介(公益財団法人とかち財団)

【概要】

イヌリンはチコリの他、野菜や果物にも含まれる水溶性食物繊維であり、食物繊維としての機能性の他、様々な物性改良効果を有する。近年、食物繊維の効能が注目され、様々な食品開発が進む中、北海道に適した食物繊維素材を十勝で生産し、利活用を進めるための用途開発の現状について報告する。

【シーズマッチングの方向性】

◆製品化 ◆資金提供元 ◆その他(開発した中間食品素材需要の獲得)

【マッチングの対象】

◆製造業(食品加工業(素材加工)) ◆その他(健康食品関連、介護・福祉・給食関連)

《キーワード》高齢者用食品、加熱処理、損傷デンプン量

2.

2. 米粉の粘度などの特性解析にもとづく高齢者向け商品開発

【発表者】

山木一史(道総研 食品加工研究センター)

【概要】

各種の米粉について成分や粉体特性を分析し、損傷デンプン量や平均粒径、吸水性などの米粉特性の指標となる成分を明らかにした。さらに、これらの米粉の各種食材への加工適性を確認するとともに、加工適性と米粉特性値との関係を明らかにした。また、加熱処理をした米粉に物性改良効果があることと、この米粉が高齢者向け食品に利用可能であることを明らかにした。

【シーズマッチングの方向性】

◆製品化 ◆技術移転先

【マッチングの対象】

◆製造業(食品製造業) ◆農林漁業関係者

《キーワード》満天きらり、脂肪代謝改善効果、ルチン分解酵素

3.

3. ルチンが極めて多いダツタンソバを材料としたパスタなど麺、パン、菓子の機能性食品開発

【発表者】

鈴木 達郎(北海道農業研究センター)

【概要】

ルチンが極めて多い麺、菓子、パン等の食品を製造できるダツタンソバ新品種「満天きらり」を育成しました。従来品種で問題とされる苦味が無いことも特徴です。本セミナーでは「満天きらり」の粉や加工食品の特性、原料供給の現状、今後の展望などを中心に紹介させていただきます。

【シーズマッチングの方向性】

◆製品化

【マッチングの対象】

◆製造業(麺、菓子、パン等の食品) ◆農林漁業関係者 ◆公社

《キーワード》糊化、硬化抑制、炊飯米

4.

4. 硬くなりにくい米粉パンや餅が作れる水稻品種開発

【発表者】

梅本 貴之(北海道農業研究センター)

【概要】

米デンプンのアミロペクチンの短鎖化によって、硬くなりにくい米粉パン、酵素などの添加無しに柔らかさを保てる餅や団子、ご飯の柔らかさを保つことのできる水稻を開発しています。その特徴と利用の可能性、品種開発の状況についてご紹介します。

【シーズマッチングの方向性】

◆製品化 ◆資金提供元

【マッチングの対象】

◆製造業(食品製造業、酒造業、製粉業) ◆農林漁業関係者 ◆その他(スーパー、コンビニ等)

5.

《キーワード》ふん尿処理、メタン発酵、再生可能エネルギー

5. 小規模酪農を対象とした高温・乾式バイオガスプラント製造の事業化

【発表者】

保井 聖一 ((株)ズコーシャ 総合科学研究所)

【概要】

高温・乾式メタン発酵技術によって、半固形状の低水分乳牛ふん尿から無加水でバイオガスを大量生産するプラントを開発しました。酪農経営内の化石燃料の大幅削減、発酵残さ再利用による経営改善、環境保全など高い効果を有しています。開発中の小型コジェネと併せて、販売・メンテナンスしていただける企業を求めています。

【シーズマッチングの方向性】

◆その他(本プラント、小型コジェネの販売・メンテナンスの請負先を見つける)

【マッチングの対象】

◆製造業(プラント製造メーカー) ◆商社

6.

《キーワード》メタボリックシンドローム、腸内細菌叢、新規生理作用評価系

6. 胆汁酸組成の新たな網羅的評価法を活用した食品開発

【発表者】

石塚 敏(北海道大学農学研究院)

【概要】

血清、胆汁、肝臓、消化管内容物及び糞などの生体試料からの胆汁酸抽出法及び分析法を検討し、それらに含まれる胆汁酸を網羅的に把握する技術を確立した。この技術を用いて、地域イノベーション戦略支援プログラムの一環として実施しているメタボリック症候群予防のための生理作用評価系の検証を紹介する。

【シーズマッチングの方向性】

◆共同研究

【マッチングの対象】

◆共同研究機関 ◆製造業

7.

《キーワード》高効率(50%省エネ)暖房、プラスチックパネルラジエーター

7. 地中蓄熱と輻射暖房による省エネハウスの自動化

【発表者】

黒田 邦臣 ((株)ソラル)

【概要】

床暖房や輻射暖房は人間に快適であり植物でも同様である。放射温度計で2℃差別化できるプラスチックパネルラジエーターで、植物生育下限温度を5℃以上下げることが出来、従って暖房費を50%削減する暖房システムが可能になる。このシステムを事業化する企業を求む。

【シーズマッチングの方向性】

◆資金提供元

【マッチングの対象】

◆農林漁業関係者 ◆商社



GTBH

Green Techno Bank Hokkaido

【事務局】

NPO法人グリーンテクノバンク

060-0002

札幌市中央区北2条西1丁目10番地ピア2・1

Tel&Fax 011-210-4477

gtbh@almond.ocn.ne.jp